豊田市役所　会場風景　　2023/12/07　東大会議室４　参加者18人

図1
推進講座第一部の講義「色覚の多様性とカラーユニバーサルデザイン」

図2
推進講座第一部のワーク
講義の途中に、色弱者の見え方を色弱模擬フィルタ（バリアントール）をかけて50色の色紙を5種類に分類するワークが入る。色弱当事者の講師（右端）が同時進行で分類したものを見せながら質疑応答し、参加者と当事者が直接交流する。色弱者が見分けづらい色の組み合わせを実感できる。

図3
推進講座第二部のワーク
Officeツールを用いたCUD対応文書作成ワーク（プログラムF）。CUDチェックツール「色のシミュレータ」Web版の使い方をマスターする。その後PowerPoint学習用データを使用して、図形や文字色を目立たせるテクニックを学ぶ。

日進市役所　会場風景　　2024/01/09　南庁舎２階第５会議室　参加者19人

図4
推進講座第一部の講義「色覚の多様性とカラーユニバーサルデザイン」

図5
推進講座第一部のワーク
色弱模擬フィルタ（バリアントール）をかけて５０色の色紙を5種類に分類する体験ワーク。色弱者が混同しやすい色を知るのに効果的であり、当会によるカラーユニバーサルデザイン推進のワークショップでは必須のプログラムとなっている。

図6
推進講座第二部のワーク
CUDの知識とスキルをいかに他者に伝えるかを学ぶワーク（プログラムD）ロールプレイ。３人1組で、CUDの教師役の説明を聞いたCUD初心者が評価する。観察者はチェックシートに従って、チェック項目とポイント欄に説明があったか否かや気づいたことなどを記録する。

知多市役所　会場風景　　2024/01/16　多目的会議室　参加者20人

図7
推進講座第一部の講義「色覚の多様性とカラーユニバーサルデザイン」

図8
推進講座第二部のワーク
受講者が持参した印刷物のチェック（プログラムA）。ワーク中は講師らがグループになったテーブルを回り、参加者と話し合い相互に理解を深めていく。

図9
推進講座第二部のワーク
ワークの最後に、グループごとに気づいた点や改善策を話し合った内容を全体で共有した。見分けにくい配色を他のグループの参加者もバリアントールで確認したり、メモを取るシーンも見られた。

長久手市役所　会場風景　　2024/01/18　西庁舎研修室　参加者19人

図10
推進講座第一部の講義「色覚の多様性とカラーユニバーサルデザイン」

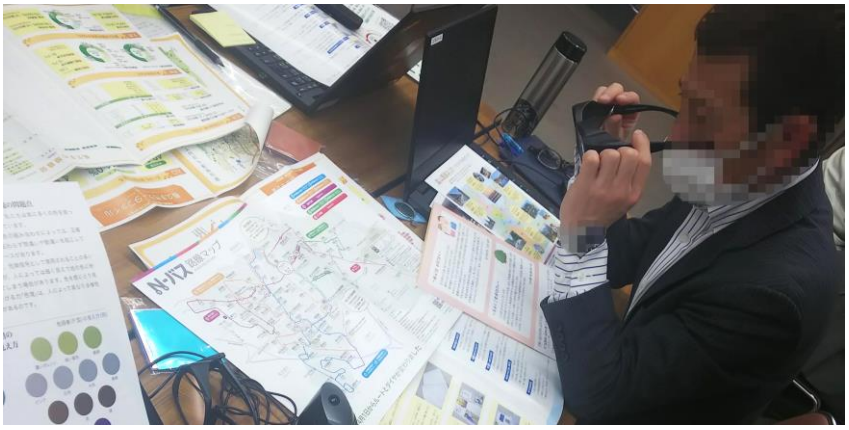

図11
推進講座第二部のワーク
受講者が持参した印刷物のチェック（プログラムA）。バリアントールを掛けると、バス路線マップの路線カラー5色の中に見分けづらいものが見つかった。

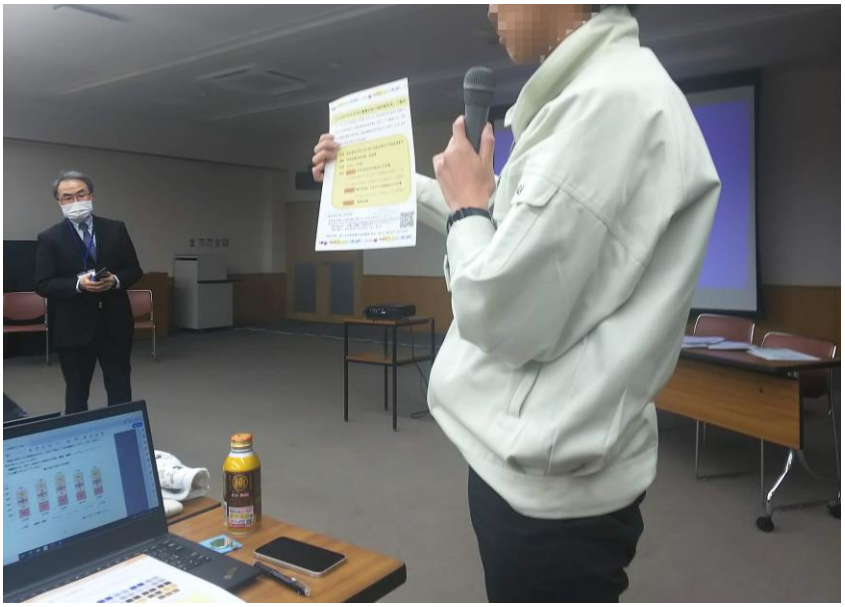

図12推進講座第二部のワーク
気づいた点や改善策を話し合った内容について全体で共有した際、当時者（左）が感想やコメントをする場面。

尾張旭市役所　会場風景　　2024/02/14　3階講堂1・2　参加者18人

図13推進講座第二部ワーク。
受講者が持参した印刷物のチェック(プログラムA)。講師がワークの趣旨、目的、ポイント、全体の流れについて説明する。

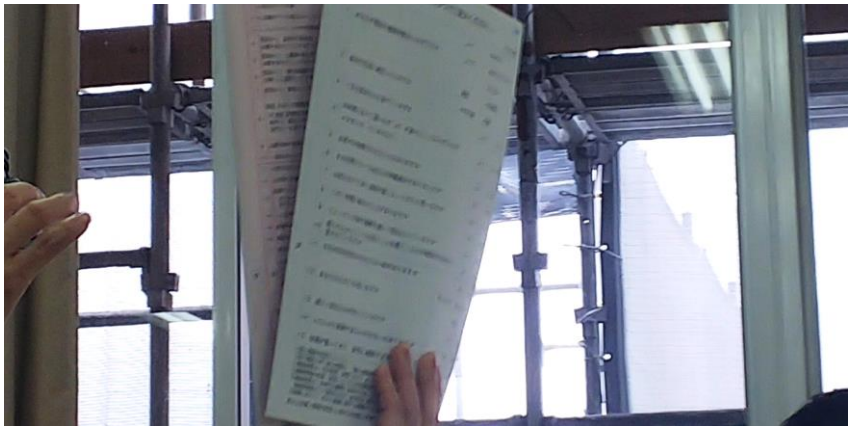

図14
推進講座第二部のワーク
各グループごとの気づきを全体共有する場面。配布用健診問診票のピンクと水色が見分けづらい。市民からの問い合わせの際、票の特定を色名で確認していることがあるが、困る人もいると気づいた。

図15
推進講座第二部のワーク
全体共有の際、代表がメンバーが持ち寄った幾つかの印刷物についての気づきを発表しながら、講座全体の感想、CUD取組みの抱負を語った。